倶知安町
Kutchan Town

女性目線で災害に備えるために

倶知安町
マスコット
キャラター
じゃが子ちゃん



【背景・ねらい】
近年の地震や大雨などの自然災害は、より激しく、かつ頻繁に発生しています。
東日本大震災や能登半島地震において、女性に対するＤＶ・性犯罪の発生が報告されるなど、女性は災害発生時や避難生活に弱者(被害者)となりやすく、様々な心身のストレスや困難に直面しやすいと言われています。
そのような場で、女性を対象にした対策（女性目線）を行政などが提供するのはもちろんですが、女性自身も日頃から自衛策を考えておいていただきたいと思い、女性視点での持ち物(非常持出品)や対策を紹介します。

※【参考とした資料】　「空飛ぶ捜索医療団」ホームページ記事：女性視点で考える防災
https://arrows.peace-winds.org/journal/12039/#toc-1

防災バッグに追加したい備え（非常持出品）

大項目	用品の例
衛生用品	ナプキン、パンティライナー サニタリーショーツ、携帯用ビデ、ゴミ袋
スキンケア用品	化粧水、乳液、日焼け止め、かがみ クレンジングシート、ドライシャンプーなど
ヘア用品	くし、ヘアゴム
乾燥防止	リップクリーム、ハンドクリーム、マスク
リラックスのためのグッズ	アロマ、ホットアイマスクなど
非常時・防犯グッズ	防犯ブザー、ホイッスル 黒い部屋着ズボン(破れにくく透けない生地)
プライバシー	ポンチョ、洗濯ネット袋
その他	好きなお菓子、痛止め薬、カイロ

○ 衛生用品は最低でも１周期分で使う数量を準備
○ 過度に派手なメイクやおしゃれは不要でも、肌荒れなどがストレスになる場合があるので、必要最低限のものを準備(他の避難者とのトラブルに注意)
○ 冬季など防寒が必要な場合、ボア付スリッパや古いスキーウェアも便利

避難所で気をつけたいこと

○ エコノミークラス症候群や膀胱炎にかかりやすくなるため、水分補給や軽い体操、着替えやボディシートの活用を図りましょう。
○ 人目の少ない場所へ行くときは、周りに声を掛け合ったり、複数人で行動しましょう。

皆さんの「アイデア」を教えてください

ここでご紹介したことは、女性視点での防災対策をまとめたＨＰ記事を参考に、町内の女性のご意見を取り入れて作成しています。
が、一部のご意見しか取り入れられておらず、しかも「男性」が作成したものですので、より多くのご意見・アイデアをいただきたいと思います。「ワタシはこんな準備をしているわょ」といったものを、ぜひ教えてください。匿名でも結構ですので、メールでお送りください。
⇒総務課危機管理室　メールアドレス：kiki@town.kutchan.lg.jp